

香具波志神社文書 一括(3,504 点)

香具波志神社文書

かぐわしじんじゃもんじょ

分野／部門

有形文化財／歴史資料

所有者

宗教法人 香具波志神社(かぐわしじんじゃ)

所在地

大阪市淀川区加島 4 丁目

紹介



香具波志神社文書のうち、段銭催促状

香具波志神社は、淀川流域に社地を構える市域有数の神社のひとつである。創建は天徳 3 年(959 年)の秋にさかのぼり、一人の童子があらわれて、松の木の下にたたずみ、農耕や財福の神である稻荷神をまつるように託宣を行った。これが時の村上天皇の聞こえるところとなり、社を建立したことがはじまりという。香具波志神社文書は、古文書 2,856 点・典籍 648 点、合計 3,504 点からなり、数は少ないが中世の文書も伝えている。中心となるのは、近世から近代の、神社の由緒と信仰に関連する文書だが、神社に滞在していたこともある上田秋成(うへだあきなり)や、隣地にあった加島鑄銭所に関連する文書も含む。神社に伝来する文書としては、市域有数の歴史資料である。